

平成29年6月第2回定例会

上程9議案を審議

6月1日から6月19日まで

平成29年第2回定例会は、6月1日から6月19日まで19日間の会期で開かれ、条例案2件、補正予算案6件、事件案1件の合計9件の議案を審議しました。



議会

No.201

条例

■郷の家設置条例の全部改正

村の直接管理となったことに伴い、指定管理施設として定められていた条例を全て改正。

《主な改正内容》

- ・これまで生涯学習課で管理していたものを産業課に移し、村を訪れた観光客等に一般開放するため、主に土日祝日を開館とします。
- ・申し込みがあった場合は、占有して使用することも可能とし、その場合の使用料を定めました。

半日(4時間未満) 2,000円
1日(4時間以上) 4,000円

■田舎暮らし体験住宅設置条例の一部改正

《主な改正内容》

- ・体験住宅の、使用者側に起因する損害について、村が加入する旅館総合賠償保険で対応することとするものです。



自然劇場

議会に対するご意見
をお聞かせください。

お電話の場合

☎ 82-3111(内線150番)

E-mailの場合

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

平成29年第2回定例会のあらまし

▼開会日(6月1日)

会期の決定、村長からの諸般の報告、3月定例会以降の行政報告、平成29年度一般会計補正予算など9議案が上程されました。

提案理由の説明、質疑等を経て、所管の常任委員会に付託されました。

▼予算決算常任委員会(6月6日)

付託された補正予算及び各事業の進捗状況を審議しました。

▼一般質問(6月13日・14日)

7人の議員が、村政のさまざまな課題に対して質問しました。(各議員の質問項目は31ページ)

▼村内視察(6月15日)

郷の家の現状を視察しました。

▼常任委員会(6月15日)

付託された条例、事件案件を審議しました。

▼全員協議会(6月1日・19日)

予算や事業についての詳細な説明、報告及び質疑、また議員間での報告・協議等を行いました。

▼閉会日・採決(6月19日)

各常任委員長から委員会審査の報告があり、議案はすべて、全会一致で原案通り可決となりました。

(主な内容は本文参照)

補正予算

一般会計及び各特別会計補正予算案を、全て原案のとおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

■一般会計補正予算(第2号)

歳入・歳出に1842万1千円を追加し、総額を33億7742万1千円とする補正予算。
財源は、基金の取り崩し等です。

《主な補正内容》

【歳入】

- ・地方交付税 (200万円)
- ・国、県からの補助金額の調整 (313万9千円)
- ・基金からの繰入れ(財政調整基金) (1117万8千円) ほか。

【歳出】

- ・移住体験住宅を建設するため、旧南部小学校プール跡地の整地と暗渠排水工事の経費。(171万8千円)
- ・産業ネットワーク協議会が事業主体となつて行う「酒米ブランド化プロジェクト」に要する費用。(169万5千円)
- ・都市(主に調布市)との交流を担当する「地域おこし協力隊員」を採用。報酬等の人件費と需用費等の必要経費。(309万3千円) ほか。

■後期高齢者特別会計補正予算(第1号)

歳入・歳出に23万1千円を追加し、総額を5339万2千円とする補正予算。

《主な補正内容》

- ・保険料の還付金23万1千円を歳出に計上し、財源として広域連合からの保険料還付金を同額見込みました。

■国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入・歳出に23万7千円を追加し、総額を6億7511万9千円とする補正予算。

《主な補正内容》

- ・職員の異動に伴う人件費の増。財源は一般会計からの繰入金です。

■介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入・歳出で66万2千円を減額し、総額を5億8106万4千円とする補正予算。

《主な補正内容》

- ・サロンの運営費20万円を一般会計から移行しました。財源は、国・県の交付金等で13万8千円を見込んでいます。
- また、職員の異動に伴う人件費の減です。

■観光施設特別会計補正予算(第1号)

歳入・歳出に32万2千円を追加し、総額を1億3207万円とする補正予算。

《主な補正内容》

- ・池の平ゲレンデのリフトが4月から村の管理となったため、スキー場施設管理費に光熱水費を計上しました。財源は一般会計からの繰入金です。

■水道事業会計補正予算(第1号)

歳入歳出で358万4千円を減額。
《主な補正内容》
・職員の異動に伴う人件費の減です。

事件

■物品売買契約の締結

現在使用している平成8年11月購入の11t級除雪ドーザーの更新。
《契約内容》
・概要 11t級マルチプラウ1台
・契約金額 約1492万6千円
・契約の相手方 (株)前田製作所 飯山営業所



全員協議会

6月定例会の開催中、村と議会、及び議員間で様々な案件について協議等を行いました。
主な項目は、次のとおりです。

6月1日(木)

【村長提出案件】

- ・「郷の家」管理運営(条例)に関する詳細説明。

【議員のみ】

- ・長野県議会議員の選挙区の見直しに関する意見集約について。

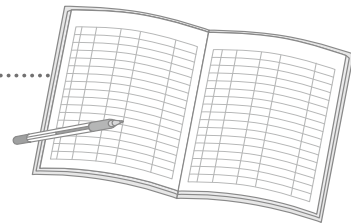
6月19日(月)

【議員のみ】

- ・議会改革検討委員会検討結果報告について。
- ・国内視察研修計画委員会検討結果報告について。
- ・議員が就任している団体役員等の今後の取り扱いについて。
- ・平成29年9月第3回議会定例会の開会予定について。
- ・定例全員協議会の日程について。



委員会審査意見



総務産業常任委員会

- 郷の家の使用料については、村の経費負担を極力軽減できるよう、村内外の区分、営業目的等も考慮した料金設定を検討されたい。

予算決算常任委員会

- 新たな「地域おこし協力隊員」を募集する予算が計上されているが、募集・選任にあたっては、退任後も村に残ってもらえるような構想で取り組まれたい。
- 「郷の家」について、所管を産業課に移し、活用状況を見ながら、今後の方針を検討することのだが、将来的な維持管理費用や費用対効果などを早めに試算し、売却や譲渡の道も探るなど、早期に方針を示されたい。
- 「サロン開設支援事業」は介護予防対策として有効であり、開設に向け、行政からも積極的に働きかけをされたい。
- 「保育園」は、未満児が増えたことに伴い、臨時職員を含めた職員数が40人と大所帯である。園児の安全がしっかり確保されるよう、職員間での連携を密にし、職員管理を徹底されたい。

予算特別委員会関係

- ① 財政状況が厳しい中、将来にわたる健全財政を維持するためにも、経常的な経費の抑制が必要。公共施設や公有財産等の維持管理及び改廃計画等、早い段階での検討を進められたい。

対応 「公共施設等総合管理計画」では、今後40年間の更新・改修費用は、一般公共施設が約192億円、観光施設が約117億円で、毎年平均7.8億円が必要と試算されている。このまま全てを維持していくことは、将来の財政を大きく圧迫することが想定されるため、廃止も含めた方針を定めるべく検討を行っており、早期に将来計画を定めていく。計画策定には、必要に応じて村民の意見を聞きながら進めたい。

- ② 計画されている事業が、スムーズで効果的に事業展開できるよう、担当課の移管も含め、職務分担の精査をされたい。また、組織改編も予定されているが、事業のボリューム等を十分考慮した適正な人員配置に配慮されたい。

対応 常に事業量等を考慮しており、今後も引き続き同様に対応していく。

- ③ 庁舎建設は大事業であり、設計・建設に向けては、専門的に取り組める職員体制にも配慮されたい。

対応 確実な事務事業が執行できるよう職務分担も含めて配慮し対応する。

- ④ 「産業ネットワーク」は、既存組織との「機能や役割の棲み分け」などを点検し、効果的かつスピーディに目的が達成できるようなあり方を慎重に検討されたい。

対応 構成団体の既存の機能や役割を点検し、農商工親連携が効率的に進められるよう多様な意見を集約しながら進める。

- ⑤ 「スノーリゾート視察」は、国内先進地を優先し、財政状況を鑑みながら、これからの村の実情に合った「冬季観光のアイデア」につなげ、住民理解や費用対効果が得られるような視察を検討されたい。

対応 冬季観光は、スキー人口の減少に加えて、多様化する余暇活動、施設の老朽化など、厳しい状況。今後の方向を見定める参考として、先進地の状況調査は、国内外を問わず必要と考えており、投資的效果及び村民益を念頭に調査研究に取り組んでいく。

- ⑥ 「農の拠点施設の長期修繕計画」が予定されているが、当初から修繕箇所が多く、初期設計に問題がなかったのか検証するとともに、「今後の施設のあり方」等を十分検討した上で、慎重に取り組まれたい。

対応 当初設計の内容を精査しながら、今後の計画を策定する。改修にあたっては、今後の施設の利活用を検討し、慎重に進める。

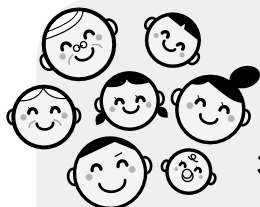
- ⑦ 健康管理検診受診や税の申告相談の際、プライバシーの保護に万全を期すよう努められたい。

対応 万全を期すよう対応する。

各議員の一般質問の項目

6月13・14日、次の7人の議員が一般質問を行いました。
(質問・答弁の主旨は、議会だより8月号に掲載いたします)

第1日目 (6月13日)	土屋喜久夫 議員	①有機農業推進と学校給食材料について ②地域製品の継続性について ③健康経営について
	萩原 由一 議員	①有機センターについて ②6次産業 農の拠点 (ファームス木島平) について
	樋口 勝豊 議員	①村の事務事業の事後検証 (総括) をすることについて ②今の国政は戦後最悪であることについて
	勝山 正 議員	①商工業者への支援について ②道の駅ファームス木島平について
第2日目 (6月14日)	江田 宏子 議員	①海外スノーリゾート視察の成果について ②消防団の負担軽減に向けて ③村民運動会のあり方について ④役場庁舎の建設について ⑤ファームス木島平について
	吉川 昭 議員	①村内の職業求人紹介などについて ②米の生産調整終了について ③馬曲温泉について
	勝山 卓 議員	①産業ネットワーク協議会について ②農の拠点について



審査意見(3月)に対する村の対応 (主旨抜粋)

3月議会定例会で各委員会から出された「審査意見」に対する村の対応の報告です。

(6月1日 本会議「諸般の報告」より)

総務産業常任委員会関係

- ①観光施設の新たな整備計画(高社山関連、カヤの平ロッジ等)は、誘客への効果が期待される反面、将来にわたる維持管理費の増加が懸念される。費用対効果を考え、誘客や収益につながる企画等、ソフト面の仕組みづくりも併せて進められたい。

対応 「観光基本計画」に基づき、費用対効果・投資的効果の検証を行いながら、誘客宣伝も含めて総合的・計画的に進める。

- ②新たに整備される「高社山登山道」の管理は村の責務であり、雪崩・落石・蜂対策等、年間を通じて登山者の安全対策に十分配慮されたい。

対応 毎年点検を行い、必要に応じて補修や安全対策を講ずる。また、関係団体等の協力を得ながら安全確保と利便性の向上に取り組む。

- ③「田舎暮らし体験住宅」は2軒目の建設も予定されているが、1軒目の利用状況や需要、将来的な活用等も考慮し、慎重に進められたい。

対応 1軒目の体験住宅は、現在までに52泊の申込みがある。今後もPRを積極的に行い、田舎暮らしに慣れ親しむことに重点を置き、集落との交流など、受け入れ体制の整備も進める。

- ④「指定管理者」の新たな指定や更新にあたり、村が管理者を選定する場合、事業が効果的に進められるよう、関係者との協議・調整など、手順を踏み、理解を得ながら選定されたい。

対応 関係団体等と事前に必要な協議及び調整を行い、適正な指定管理手続きを行う。

民生文教常任委員会関係

- ①郷の家は、廃止・売却・解体等、維持管理費が掛からないように早急に対応されたい。

対応 今年度は村が直接管理することとし、今後のあり方については、将来の維持管理に係る負担等も合わせて今年度中に検討を行う予定。